

ヤンマーサッカーOB会

会報

■発行日 平成24年1月吉日
■発行 責任者：小野寺正芳

第6号

セレッソ大阪アジアチャンピオンズリーグで快進撃！

セレッソ大阪の、そしてアジアチャンピオンズリーグ (ACL) の歴史に新たなページが書き記された。ACL 初出場のセレッソ大阪はグループリーグで試合を重ねるごとに力をつけ予選を軽々と突破、大阪ダービー戦を迎えた。下馬評ではバランスのとれたガンバ大阪が圧倒的有利と伝えられていたが、ひたむきに勝ちにこだわったセレッソが勝利し日本勢で唯一ベスト8進出を果たした。

準々決勝の全北現代（韓国）戦ではヤンマーサッカー OB 会員数名が全北スタジアムに駆けつけ大声援を送った。残念ながら得失点差により準決勝に進むことはできなかったが、この経験は選手たちに大きな自信と優勝が実現可能であることを確信させたはずである。われわれは今後も、この誇らしき後輩たちに熱いエールを送り続けていきたい。



© OSAKA F.C.

平成 22 年度事業報告 (自 H22/5/21 ~至 H23/5/20)

- 平成 22 年度ヤンマーサッカー OB 会総会 (H23/6/12)
於：ヤンマー尼崎体育館内会議室
第 1～3 号議案 満場一致で可決
- ヤンマーサッカー OB 会会報 (第 5 号) 発刊 (H22/11)
- 尼崎マスターズサッカー大会参加 (H22/11/21)
於：尼崎市陸上競技場
ヤンマーサッカー OB 会 3 位 (4 チーム参加)
- 第 2 回ネルソン記念カップ開催 (H22/11/21)
於：尼崎市陸上競技場
- ゴルフコンペ開催 (YSG)
於：花屋敷ゴルフ倶楽部 よかわコース
第 23 回 (H22/10/26) 優勝 井上 洋介氏
第 24 回 (H23/4/26) 優勝 今利 泰三氏
- 懇親会 J リーグ観戦
セレッソ大阪 VS 清水エスパルス (H22/11/6)
セレッソ大阪 VS ジュビロ磐田 (H22/12/4)
- 理事会の開催 (6 回開催)
H22/7/23・H22/8/27・H22/9/21
H22/10/20・H23/4/20・H23/5/31

平成 23 年度事業計画 (自 H23/5/21 ~至 H24/5/20)

- 尼崎マスターズサッカー大会参加 (H23/11/20)
於：尼崎市陸上競技場
- 第 3 回ネルソン記念カップ開催 (H23/11/20)
於：尼崎市陸上競技場
- ゴルフコンペ開催 (YSG)
於：花屋敷ゴルフ倶楽部 よかわコース
第 25 回 (H23/10/25) 優勝 元川 勇氏
- 懇親会 アジアチャンピオンズリーグ観戦
セレッソ大阪 VS 全北現代モータース (H23/9/14)
於：大阪長居スタジアム
セレッソ大阪 VS 全北現代モータース (H23/9/27)
於：Jeonju World Cup Stadium(韓国・全州)
- 理事会の開催 6 回以上 / 年
- ホームページのリニューアル (H23/12)
- ヤンマーサッカー OB 会会報 (第 6 号) 発刊 (H24/1)
- 平成 23 年度ヤンマーサッカー OB 会総会 (H24/6)

ヤンマー尼崎工場を見学して



7月12日小雨の中ヤンマー尼崎工場を見学させていただきありがとうございました。

尼崎サッカー協会は、ヤンマーとはサッカーを通して深い関係があります。

ヤンマーサッカー部が盛況を極めている時代から現在まで多くの恩恵をいただきました。

した。

現在では、尼崎サッカー協会の理事長にヤンマーの中谷春夫氏が就任されています。またヤンマーサッカー部のOB会のメンバーとは尼崎シニアチームと多年にわたり交換しています。尼崎の工場はグラウンドの行き帰り、また電車内から見えていましたが工場内は見ることがありませんでした。

この度は、中谷春夫氏から現在総務にヤンマーサッカーOB会の会長矢野氏が勤務されているので、一度シニアのメンバーで見学してはどうかと言われ、尼崎シニア有志が見学することになりました。

ヤンマーの帽子を着用し、見学通路を矢野氏の説明を聞きながら回りました。

工場内では、それぞれの部署を責任を持って処理されている姿を見ました。その中でわれわれを見ては挨拶をしていた

だけ感動いたしました。会社の教育とそれを受ける社員の素晴らしさを見せていただきました。

工場内が通路を含め整理整頓ができていたことにも驚きがありました。

発電機の周りでは音が非常に大きく横の人の話も聞き取れませんでした。よく見ると耳栓を使用との注意書きがあり、なるほどと感じました。

最後は1階の展示場に行き会社の歴史等を教えていただきました。その中でドイツのアウグスブルグが登場し、尼崎とアウグスブルグが姉妹都市であり、その発端がヤンマーであることを初めて知りました。

私事ですが、約40年前にアウグスブルグの大学生を中心とした団体が尼崎との交流で来日され、尼崎の一員としてこの村での交流会に参加したことを思い出しました。

大変お忙しい中、貴重な時間を私たちに与えていただきありがとうございました。案内いただいた矢野様には感謝です。工場で働いておられる皆さまにもよろしくお伝えください。

最後になりましたが、貴社の益々のご発展を祈念申し上げます。

尼崎サッカー協会 副会長 佐藤 敏郎
尼崎シニアメンバー一同

「オマケ」だらけのサッカー人生



私がヤンマーサッカー部にお世話になったのは昭和34年春から約10年間だったので随分昔の事でした。当時は今と同じく大就職難であったとの記憶があります。

ご縁があって(株)神崎高級工機製作所に入社させてもらいましたが社会人になってサッカーができるとは思っていなかったし私の

サッカー人生も当然、高校で終わりと思っていました。ところが入社して吃驚!! サッカー部ができていて親会社のヤンマーがオールヤンマーサッカー部として大阪社会人リーグ5部に登録した初年度だったのです。エ〜本当!! これからもサッカーができる! あきらめていたサッカーができる! 驚きでしたが本当に嬉しかったのを憶えています。これが1番目の「オマケ」!

昭和34年に大阪社会人リーグ5部で優勝し、毎年階段を1段ずつ登って昭和38年1部に昇格、もう私のサッカー人生も終わりに近づいたな〜と思っていましたら、昭和40年

に日本サッカーリーグ(JSL)が発足しヤンマーも関西を代表して参加するとの事。サッカーでは無名の高校出身で優れた特長がある訳でなし、まあ1年位は付き合うか〜程度でやっていたのに入れ替え戦も乗り越えて4年間も続いてしまった。これが2つ目の「オマケ」!

極めつけは昭和43年度の天皇杯サッカー選手権で昭和44年1月1日の決勝戦に勝って初優勝! 最年長で主将の肩書だったので天皇杯を受け取る名誉を体験させてもらった。これが3つ目の「オマケ」!

カバヤやグリコのキャラメル張りにオマケの話ばかりになりましたが、これ以上オマケを期待してサッカーを続けても罰が当たるのがオチと引退しました。

今まで3つの「オマケ」は多分に運に恵まれたオマケでしたが本当の最大の「オマケ」(財産)はサッカーを通じて御指導いただいた諸先輩や苦楽を共にしたチームメイトだった皆さまとの今も続いている親交であるのは間違いなし! 丸いボールに感謝! 感謝! です。

大石 正明 1959(S34) 入部

リサイクルズ30周年記念パーティーでの今利会長のごあいさつ



30年前、(株)神崎高級工機製作所の30代後半のメンバー(ヤンマーサッカー部OB含む)で「若いころを思いだしみんなでもう一度花を咲かそう」と話し合い、尼崎サッカー協会の師田会長のご支援により尼崎リーグへの参加を機にリサイクルズが誕生いたしました。

現在は、40歳以上のシニアチームとして70歳超の人から40歳までの幅広い年齢層で40数名の部員で構成しています。これからも35年、40年と歴史を積み重ねて行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



今利 泰三 1963(S38) 入部

「アマチュアサッカーに懸ける想い」



プロ選手の指導から学生の指導に変わり、戸惑いもたくさんありますが、8年ぶりに桃山学院大学の指導を今年の2月より始めています。

今回、OB会報の記事依頼により改めて当時を振り返り、また今の学生と接していると感じることを述べます。

ヤンマー入社、昭和54年度からサッカーを行ってきましたが、その当時のヤンマーのサッカーと今の学生のサッカーでは、技術とアイデアにおいては今の学生のほうが長けていると思います。

しかし、絆、つながり、仲間意識においては当時のヤンマーの選手たちのほうが素晴らしく高かったと思います。そのころ、仕事もクラブも両立してアマチュアといってもプロに近いものでした。戦い方を熟知した選手たちの、優れたメンバー構成でたくさんのタイトルを取ってきました。その強さを伝授させるには、仲間意識、人のために汗をかき人のためにプレーする心を教えることです。技術は素晴らしいものがあるので、もっともっと強くなると思います。

当時のヤンマーサッカー部の人たちの想いをもっと言葉にして、今の学生に指導したいと思います。ヤンマーOBとして未来につなぐ役割に貢献していきたいと思います。

楚輪 博 1979(S54) 入部

膝の「人工関節置換手術」をして



両膝の「変形性膝関節症」の痛みで長い間悩んでいた私は、歩行がつらく正座やしゃがむことさえできませんでした。

しかしゴルフだけは前日に病院で痛み止めの注射をしてもらいプレーを楽しんでいました。ご存じと思いますが「変形性膝関節症」は膝関節の軟骨が長期間に少しずつ擦り減り、クッション機能を失って炎症を起こし痛みを伴うものです。

初期はちょっとした動作で膝に違和感を抱く程度ですが、痛みを感じ始めた時にはかなり症状が進んでいるのです。若いころから私はサッカーでなくテニスをしていましたが、スポーツの影響だけでなく加齢・肥満・O脚などが原因で50歳の半ばごろから膝の痛みを感じ始めました。

医者の手術の勧めをかたくなに拒みヒアルロン酸の注射をもらい、サプリメント（グルコサミン・コンドロイチンなど）を試したりしましたが、症状の回復には全く効果がありませんでした。

他の処方として「保存療法」に取り組み、脚部の筋トレ・装具装備・薬物投与などで痛みの軽減に努力しました。しかし症状は悪化するばかり。遂に軟骨が擦り減って脛骨と大腿骨の一部がじかに接触し激痛に耐えきれなくなり、「人工関節置換手術」をすることを決断しました。

まず平成21年3月に左膝を手術。術後は患部の激痛で夜中も眠れず忍苦に耐えるのみ、何よりも辛かったのはリハビリです。特に機械で膝を曲げるリハビリには涙がでました。

しかし治療後の効果を思えばリハビリは不可欠です。私は理学療法士によるリハビリ以外に、独自で毎朝夕に病院内廊下での歩行訓練や筋トレに懸命に励みました。

退院後も痛みが取れず歩行が楽になるまでには約4ヶ月かかりました。余りの苦痛に右膝の手術を躊躇してしまいましたが、手術後初めて10月のYSGゴルフコンペに参加し、お陰で好成績でゴルフができたこと、時がたつにつれ激痛の記憶が薄れ、翌平成22年3月に右膝を手術。

前回の左膝の時とは別な痛みが加わり全快までに約5ヶ月かかりました。この両膝の手術では足の一部にシビレが残るなどの後遺症があり正座もできませんが、何と言っても歩行が楽になりゴルフも安心してできること、歩く姿もO脚がなくなってスマートになったと言われ、今ではもっと早くに手術をしたら良かったと思っています。

有村 宏三郎 1957(S32) 入部



平成22年度ヤンマーサッカーOB会総会(H23/6/12)



第25回 平成23年10月25日

於：花屋敷ゴルフ倶楽部 よかわコース



優勝 元川 勇

準優勝 笠井 孝司

3位 三好和久太

今回は仕事や個人事情で参加 15 名と少ないなか、ヴィッセル神戸会長の安達氏が肩の故障（テニス肩）も癒えたと参加いただき、準記念大会として大いに盛り上がりました。

案内が届いていない方で参加希望の方は一報ください。

新役員のご紹介

会 長	小野寺正芳 (S48)	
副 会 長	中谷 春夫 (S40)	下村 利男 (S54)
会計・理事	杉浦 弘 (S55)	
理 事	三井 朝治 (S37)	吉田 保造 (S49)
	宮本 功 (H4)	玉田 稔 (S52)
		曾根 政芳 (S51)
参 与	大石 正明 (S34)	鬼武 健二 (S37)
		三好和久太 (S32)
		石黒 清行 (S35)
顧 問	前田 芳弘 (S40)	村上 隆 (S37)
		今村 博治 (S43)
監 事	別所 充 (S44)	矢野 正人 (S49)

新任のごあいさつ

平成 23 年 6 月 11 日のヤンマーサッカー OB 会・平成 22 年度総会の場におきまして、皆さま方のご指名により矢野会長より引き継ぐことになりました。会長を仰せつかりまして、その責務の重要性を改めてひしひしと認識しているところであります。

昭和 48 年、ヤンマーサッカー部に入部させていただいたにも関わらず何のお役にも立てず、会長という大役には適していないとも考えましたが、今こそ貴重な経験をさせていただいたことへのご恩返しをしなければならぬとお引き受けすることを決意致しました。

ヤンマーサッカーOB会の名を汚すことなく務めてまいりますので、ご支援・ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



小野寺 正芳 1973(S48) 入部

会長退任のごあいさつ

平成 19 年 6 月に今村前 OB 会会長から OB 会会長という大役を仰せつかり曲がりなりにも 4 年間勤めてまいりました。この 4 年間の事業計画におきまして大過なくすべてこなせてまいりましたのも、会員の皆さままた理事役員の方々のおかげと大変感謝しております。

事業計画のひとつには OB 会会報を 4 年連続発行し、19 年は尼崎サッカーグラウンドの人工芝のオープニング、20 年はセレッソ大阪応援の横断幕のお披露目、21 年は第 1 回ネルソン記念カップを開催し、そして 22 年はネルソン吉村殿堂入りと懐かしい明るいニュースが続きました。

しかしまた暗いニュースもございました。4 名もの OB がご逝去されました。平成 20 年園田敏明さん、阿部武信さん、平成 22 年白石義勝さん、吹田茂夫さん、ここであらためてご冥福をお祈りいたします。

今年 6 月に 4 年の任期を終えましたが、この間大変よい経験をさせていただきました。この経験を生かしまして今後もヤンマーサッカー OB 会を応援してまいりたいと思います。

最後に OB 会がより発展してまいりますよう、心よりお祈り申し上げます。



矢野 正人 1974(S49) 入部

■ ヤンマーサッカーOB会 ホームページリニューアル

この度、ヤンマーサッカー OB 会のホームページをリニューアルしました。

会報は PDF 形式でアップロードしていますので、必要に応じてプリントアウトすることができます。

今後も随時 OB 会会員の活動状況をなどを更新し、魅力あるコンテンツにして参りますのでご期待ください。

<http://www.yanmar-ob.com/soccer-ob/soccer-top.htm>